

## はじめに

「誇る文豪田山花袋」と上毛かるたにうたわれた田山花袋は、明治四年に館林に生まれました。昭和五年に五十八歳で亡くなるまで、花袋は詩や小説、紀行文、隨筆、和歌、漢詩など、数多くの作品を残しました。その中でも最も有名なのが『蒲団』と『田舎教師』で、現在でも多くの人々に読み継がれています。

この「田山花袋作品集」は、子供のころから花袋の作品を読んでいただきましたために、小学生向けの作品「梅雨のころ」「路の話」「金魚」の三編を取り上げ、編集しました。

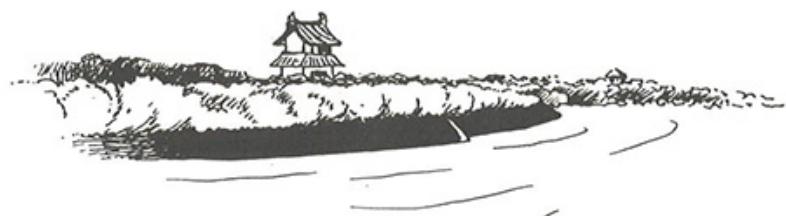
この作品集を通して、花袋のふるさとへの思いや、花袋を育てた館林の自然や風土を知つていただくとともに、郷土の文豪・田山花袋の作品につき親しんでいただくことを希望します。

## 目 次

金 路も 梅つ  
田 山花袋 雨ゆ のはじめに  
魚 話 のころ  
35 33 21 11 1

作品について

## 梅雨のころ



- 1 -

